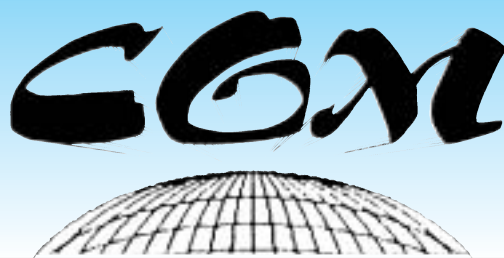


Iwakura  
International  
Exchange  
Society



岩倉市国際交流協会

第53号

2007年2月10日

岩倉市国際交流協会  
**15周年記念特別号**



# フィリピンピナトゥボ交流訪問団 人に出会う旅PART 15



1992年の秋、まだ真っ白な火山灰に埋もれたままのフィリピン・フロリダブランカの地に、岩倉からの一行10人が一步を踏み入れてから、毎年のように訪問団を送ってきた「人に出会う旅」も15回となった。

今年度は現地のコーディネーター役のボトンことDr.クユーガンの都合で11月の訪問となった。一行は大学生世代から60代までの15人で5泊6日の日程。深夜に到着して、深夜に別れを告げるという強行軍。しかも一行のうち2名が仕事の都合で

遅れて参加、実質1泊4日という変則的な参加となった。それはそれで、何も分からず一回目の訪問に匹敵する結構面白い体験だった。

滞在初日は前回の訪問でサッカーグラウンドの贈呈を約束したボデガの養護施設訪問。現地の顔なじみの人達の協力で完成したグラウンドで施設の子ども達と日比対抗サッカーを楽しむ。

2日目は恒例のナブクロド山頂に登ってのアエタスとの交流。今回は彼らの宗教的な儀式に参加。団員二人の津軽三味線の調べはアエタスの人々の心にも届き、踊りだす老人も。

3日目はグタの小学校での交流。子ども達のマスゲームも楽しませてくれたが、ここでも津軽三味線は大好評。

4日目はグタの協会では昼の時間を利用してのサンクスパーティー。団員が一丸となって腕を振るって料理し、ホストファミリーやお世話になった人たちに振舞った。

最後の夜はホストとゆっくり、、、とはいかず、夜中の12時にマニラに向けて出発。

## 参加者の声。

今回の旅で「贅沢な時間」をもらいました。映画で、玄関前に置いてあるベンチで昼寝をするシーンを見た事がありますが、私はそれをするのが、若い頃からの夢でした。これを見事に実現する事が出来ました。2~3か所、腕を蟻に刺されましたが、そんな事は問題ではありません。ゆったりとした時間の流れを楽しむ、そんな旅でした。



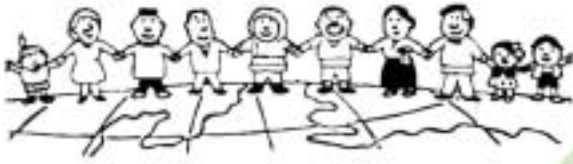
このように15回目の訪問は終了した。15回という節目に当たり、今後は現地の要請のある学校や施設でのボランティア活動の推進や、訪問を含めて相互交流を企画するなど、新たな交流事業を考えたいと思う。(内藤和子)



# 15年の思いをのせて







# Photo Album

1992-2007

協会発足から早や15年。  
あんなことも、こんなことも…。  
いろんなことがありました。  
これまでの協会の活動を  
写真で振り返ってみます。



1992.4.19  
「協会発会式」  
岩倉市図書館にて

ホームステイをしながらの



春は、「こいのぼりづくり」



秋は、「市民体育祭」



この地域に暮らす外国からの人たちの家庭料理  
を紹介してきた「世界のお惣菜」





ジュニアスタッフ



「国際交流連続セミナー」  
2004.7.10 ビー モンゴル フン(私はモンゴル人)



ゴスペル「まーでいーKid'sクワイア」

「人に会う旅」ピナトゥボ訪問

「贈る人と贈られる人ではなく、友達になりたい」との思いから始まった訪問も、昨年の11月で15回目となりました。



ロニー

ジェク



ボトン

その他の事業

岩倉市からの受託事業  
「中学生海外派遣団」



外国人のための日本語教室  
「日本語ひろば岩倉」



協会では、この他にも、いろいろな事業を行ってきました。「体歓アジア」などのセミナーや講演会、「いわくら市民ふれ愛まつり」や市民盆踊り大会への参加。また、ピナトゥボ地域の人々との交流では、皆さんからの募金により図書館、サッカー場を贈ることもできました。紙面の都合で、ここでご紹介できないのは残念ですが、協会では、これからも、皆さんに気軽に参加していただける事業を行っていきますので、よろしくお願ひします。

## 岩倉市国際交流協会 15周年記念事業

# シャンソンとディナーの夕べ

平成4年(1992年)に市民の皆さんの手で設立された岩倉市国際交流協会は、今年度15周年を迎えることができました。12月23日、岩倉市総合体育文化センターで、長年にわたり協会の活動を支えていただいた会員や、岩倉市をはじめ関係者の皆様に感謝の気持ちを込めて、15周年記念事業・シャンソンとディナーの夕べを催しました。



←石黒靖明会長の感謝の挨拶で開会



児玉たまみさん→の美しい歌声に酔いしれました



市内に住む外国人や、アジア保健研修所事務局長、中学生海外派遣事業参加者も参加し、協会会員による世界の料理を楽しみました



人に会う旅PART 15の報告会  
訪問団員から楽しかった思い出が語られ、現地でも演奏した津軽三味線が披露されました





## 国際交流協会セミナー

# マレーシア・日本 文化交流の集い in 岩倉



12月2日(土)岩倉にマレーシアから総勢61名のお客様が見えました。

9時に希望の家に到着し、長旅の疲れを癒しました。日本に到着してから20日あまり九州から東京まで公演をして回り、最後岩倉と名古屋で公演をして帰国という皆さんでした。

希望の家では、ホストファミリーの皆さんを迎えるために、さっそくマレーシア料理に取り組みました。その後、ホストファミリーの皆さんと一緒に食事。

午後は2時よりおまつり広場で「マレーシア・日本文化交流の集い in 岩倉」が開催されました。

はじめに、太鼓友の会の皆さんによる和太鼓の演奏、日本の音色を味わいました。次に、マレーシア人ダンサーと日本人モデルによるファッションショー。その後、軽快なマレーシア音楽にのってダンスが披露されました。華やかな衣装と迫力あるダンスに観客は魅了されました。

文化交流の集いの後は、それぞれのホストファミリーのもとへ向かいました。(三浦光俊)



イスラム教徒は初めてなので、どんな食べ物がいいのか、お祈りはどうするのか、我が家は大騒ぎ。本を買い込み、習慣とマレー語をにわか勉強することに…。

ところが来たのは、5カ国語(英、独、伊、中、マレー)を話す陽気なマレーシアのおじさん & お兄さんでした。

片言英語で「お祈りは?」と聞くと、「寝る前にするから大丈夫」。「飲み物は?」「プレーンウォーターでOK」。「口癖は「ノープロブレム」。

日本語を教えて欲しいというので、ひらがなとかカタカナを教えると、「明日には日本語もOK」なんとポジティブな…。

巻き舌英語で、どんどん子どもたちに話しかけます。気が付くと、私たちも笑って話していました。「杞憂」「案ずるより産むが易し」文化、習慣、言葉のちがいも結構おもしろい。そんなことを教えてくれたマレーシアからのお客様でした。



## 世界のお惣菜 ー中国編ー

食をとおした交流会「世界のお惣菜」を開催します。  
今回は、岩倉市内の娘さん宅に滞在中の唐文霞さんから中国料理を学びます。

▼と き 2月24日(土) 午前10時30分～午後1時30分

▼ところ 市公民館料理教室

▼献 立 ①肉包子(肉まん)②モヤシ春雨サラダ

▼定 員 25名

▼持ち物 フキン・エプロン・筆記用具

▼費 用 会員…400円、非会員…600円

小学6年生以下はそれぞれ半額

▼申込期限 2月20日(火)

▼申込・問合せ先 早坂 (TEL/FAX 37-7973) 中山 (TEL/FAX 66-8573)



## 外国人無料健康相談会

岩倉市国際交流協会では、特定非営利活動法人外国人医療センターと共同で外国人の為の無料健康相談会を開催します。外国人医療センターは前回52号のCOMでもお知らせしましたが、外国人への医療情報の提供や健康相談を無料で実施している団体です。この度、同センターが毎月1回実施している外国人無料健康相談会を岩倉団地自治会の協力も得て下記要領で実施することになりましたので、お知り合いの外国人に是非教えてあげてください。なお、外国人医療センターは、当日以外でも健康相談に応じています。

と き 平成19年3月25日(日) 午後2時～4時

ところ 岩倉団地集会所(岩倉市東新町釜之口1-1)

対 象 外国人であれば誰でも

内 容 身体測定・検尿・血圧測定・問診・歯科相談・医師による相談、胸部レントゲン撮影

費 用 無料

電話での相談等 TEL052-588-7040 受付時間:火・木・土曜日午後1時～5時

URL <http://www.h6.dion.ne.jp/~mica/>

## ピナトゥボで奉仕活動をしてみませんか?

協会ではピナトゥボで奉仕活動をしたい人に助成をすることにしました。ふるってご応募ください。

【資格・条件】岩倉市国際交流協会の会員(新規加入を含む)であること。

フロリダブランカ市グタ地域でホームステイすること。

大学生以上で、自力で渡航、滞在ができること(ホームステイ先の斡旋を協会が行うことは可能)

現地の学校や児童養護施設等で1週間以上の奉仕活動を行うこと。

帰国後においても協会の活動に参加・協力し、交流成果についてのPRに努めること。

平成19年3月31日までに出発すること。

【助成対象額】

航空運賃の半額及び施設等で現地の人の為に使用する教材や消耗品、施設等への手土産代、荷物の輸送費、マニラ空港からグタまでの交通費等の内で協会が認める額

問い合わせ先 内藤 (0587) 66-7347

会報 COM第53号(2007年2月10日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)

発行 岩倉市国際交流協会

TEL・FAX 0587-66-7347

印刷 大橋印刷

<http://www.iies.info/>